

# 褒章者の横顔



## 黄綬褒章（弁理士業務功労）

たけ やす ひで お  
竹 安 英 雄

### 学歴・職歴

昭和 41 年姫路工業大学応用化学科卒業、(現在) 竹安特許事務所 (所長)

### 弁理士会歴

昭和 52 年弁理士登録 (8202 号)、平成 2～4 年弁理士会常議員、昭和 63～平成 2 年日本弁理士会特許制度昂揚普及委員会副委員長、平成 2 年日本弁理士会常議員会第一委員会副委員長、同 2 年日本弁理士会近畿支部副支部長、平成 6 年日本弁理士会令規委員会副委員長、平成 7 年日本弁理士会財務委員会副委員長、平成 8 年日本弁理士会弁理士報酬制度委員会副委員長、平成 9～11 年日本弁理士会近畿支部副支部長、平成 15 年日本弁理士会弁理士法改正特別委員会副委員長、平成 19 年日本弁理士会紛議調停委員会副委員長

### 賞

平成 4 年日本弁理士会特別功労表彰、平成 16 年日本弁理士会特別功労表彰、平成 17 年日本弁理士会永年功労表彰

### 受章に浴して

この度、凶らずも黄綬褒章受章の栄に浴し、身に余る光栄であると同時に、身の引き締まる思いが致しております。また私をかようにお引き回し下された諸先輩方に、改めて厚く御礼申し上げます。

振り返ってみますと、会社勤務時代には特許と言うものに興味が持てず、逃げ回ってばかりでしたが、そんな私に上司から特許管理の仕事をもたされたのが、今になって思えば弁理士への道の第一歩であったと思います。いやいやながらも仕事を進めていくうちに次第に面白くなり、ものはついでで弁理士試験に挑戦し、五年がかりでようやく合格できました。

弁理士登録し、その後独立して零細な一人事務所を営む傍ら、諸先輩方のご指導に従って日本弁理士会の会務にはそこそこ参画させていただいたと思っております。

しかしながら近年、会務もさることながら、弁理士としての社会貢献が大きく評価されると聞き及んでおります。多くの業績を上げてこられた幾多の諸先輩方を差し置いて、はたして自分がかような榮譽を受けるに匹敵する社会貢献ができていたかと思ひますと、いささか面映い思ひです。

これを機にこれからも弁理士業務に精励していく所存ですので、宜しくご指導賜りますようお願い申し上げます。